



【2年】防犯教室 ～いざという時のために～

本校では、2年生に進級した早い段階で「防犯教室」を開催し、万一、不審者に出会ってしまった際に、どのように自分で自分の身を守るのかを、体験を通して学ぶようにしています。今年度は、一昨日、岡崎警察署の生活安心係の方3名をお招きし、体育館で2年生全員が体験活動を行いました。“①防犯ブザーをすぐに鳴らしてその場から離れる、②「助けて～！」と大声で叫んで助けを呼ぶ、③不審者が追いかけるのをあきらめる距離（約20m）を全力で走って逃げる”の三つの体験を、学級ごとにローテーションして行いました。体験を行うと、話を聞くだけよりも数倍よくわかり、また、長く覚えていることができます。子供たちが不審者に遭遇しないことを願っていますが、いざという時のために、これらの身を守るスキルを身に付けておくことが大切です。



▲防犯ブザーを鳴らす体験



▲大声で助けを呼ぶ体験



▲全力で走って逃げる体験



互いの頑張りを認め合えた「プレ運動会」

今年も運動会が分散開催となり、子供たちは、当日、他学年の演技を運動場で直接見ることができなくなりました。そこで、互いに演技を見合い、頑張りを称え合う目的で、昨日、プレ運動会を行いました。中学年・低学年・高学年の順に演技を披露しましたが、どの学年も観客がいると練習のとき以上に元気よく張り切って演技を行う姿が見られました。それぞれの演技の後には、仲間の頑張りに対して温かい拍手が惜しみなく送られました。明後日の本番での演技が、より一層楽しみになりました。



▲中学年の演技



▲低学年の演技



▲高学年の演技